平成26年2月の大雪検証報告



伊勢崎市

目 次

は	じめ	りに	Ξ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
気	象0	り根	既況	,	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•					•		2
警:	報	· 注	注意	報		•		•	•		•	•	•	•	•	•		-	-	•	-	•		6
被 [!]	害の	りお	犬況	•	•	•		•				•	•							•		•		7
住	宅等	∮ σ)復	IΒ	支	援		農	家	·~	の	見	舞	金		•		•	•	•	•	•		8
商.	工掌	美者	香へ	の	見	舞	金		固	定	資	産	税	の	減	免		•	•	•	•	•		9
対	応北	犬汅	7	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•			1	0
課	題及	えて	が改	善	点			•	•		•	•	•	•	•	•		-	-	•	-		1	5
今	後0	クタ	寸応		•	•		•				•	•	•					•	•	•		1	6
市	役所	斤居	ョ辺	の	様	子	ı																1	8

はじめに

平成26年2月14日(金)から15日(土)にかけて、低気圧の接近・通過により 関東甲信地方を中心に雪が降り続き、群馬県では最深積雪を大幅に更新し、伊勢崎市に おいても記録的な大雪となった。

この大雪により、市内では1名の方が亡くなられる人的被害に加え、家屋の損傷やカーポート、ビニールハウスなどの農業施設の倒壊が相次いで発生するなど、たいへん大きな被害がもたらされた。

道路の除雪作業が進まず道路交通が寸断される中、消防などの緊急車両の出場や路線 バスの運行、物流の面においても大きな影響を及ぼし、ゴミの収集業務についても一時 中止するなど市民生活に大きな影響が生じることとなった。

今後、この検証報告を伊勢崎市地域防災計画の改正や雪害対策マニュアル作成の基礎 資料として活用をしていきたい。

気象の概況

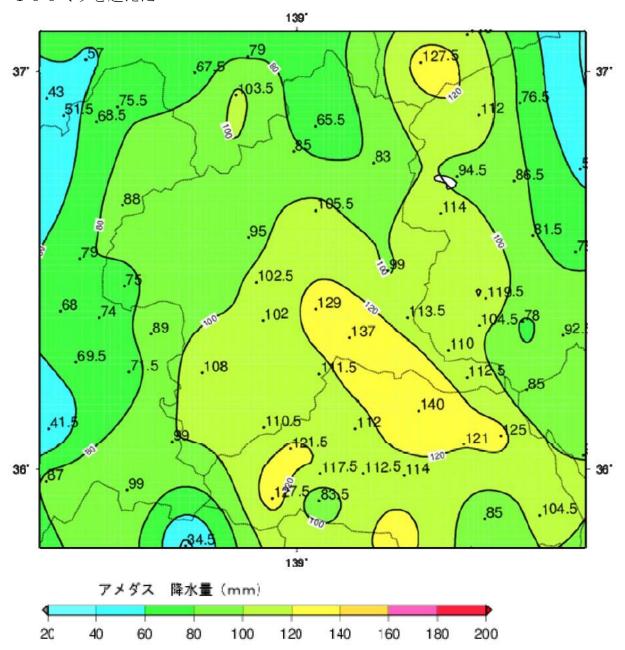
平成26年2月13日21時に南西諸島で発生した低気圧は、本州の南海上を北東に進み、次第に発達しながら15日明け方から昼頃にかけて関東地方沿岸に接近した後、関東の東を北東に進んだ。また、関東地方の上空約1500メートル付近には-6 \mathbb{C} 以下の寒気に覆われていた。

この低気圧と上空の寒気の影響により、群馬県では、14日朝から雪が降りはじめ、各地で大雪をもたらした2月8日から9日に続く大雪となった。特に、前橋では記録的な大雪となり、月最深積雪が73センチと統計開始以来の記録を更新した。また、14日から15日にかけて降水量も多くなり、伊勢崎の期間総降水量が137ミリとなったのをはじめ、南部を中心に期間総降水量が100ミリを超えた。

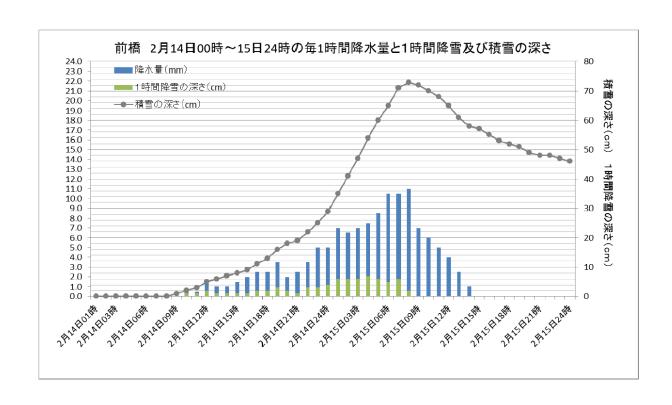
2月15日は低気圧が発達しながら関東の東を進んだことにより、群馬県内では北よりの強風が吹き、草津では北北西の風22.2 m/s、桐生では北東の風21.6 m/s の日最大瞬間風速を観測し、共に2月の統計開始以来第2位の記録となった。

■期間の総降水量分布図(2月14日0時~2月15日24時)

群馬県内での期間の総降水量は、伊勢崎市の137ミリが最も多く、南部を中心に 100ミリを超えた



■毎1時間降水量と積雪の深さ等の時系列図(前橋)



■アメダス積雪値表

単位:センチメートル

観測所名	1 4 日 最深積雪	時	1 4 日 積雪差日合計	15日 最深積雪	時	15日 積雪差日合計
藤原	137	24 時	20	165	24 時	34
みなかみ	95	24 時	22	138	13 時	51
草津	86	24 時	26	148	13 時	65
前橋	29	24 時	29	73	8 時	44

■アメダス降水量表 (期間:2月14日0時から2月15日24時)

単位:ミリメートル

	14日	日最大 1 時間降水量		日聶	是大	15日	日昻	是大	日最大		
観測所名	日合計			10 分間	降水量	日合計	1 時間	降水量	10 分間降水量		
		最大	時分	最大	時分		最大	時分	最大	時分	
藤原	16.5	2. 5	1328	0. 5	2400	49. 0	6. 5	0410	1. 5	0359	
みなかみ	18. 0	3. 0	2400	1.0	2358	67. 0	9. 5	0913	2. 0	0839	
片 品	21.5	3. 0	1307	1.0	1217	61.5	9. 0	0923	2. 0	0922	
草	25. 5	3. 0	2400	1.0	2359	74. 0]	9. 0]	8080	4. 0]	2133	
沼 田	28. 0	4. 0	2400	1.0	2400	77. 5	9. 0	0516	2. 0	0957	
中之条	26. 5	4. 0	2400	1.0	2400	68. 5	14. 5	0957	4. 0	0931	
田代	26. 5	4. 0	2400	1.0	2400	48. 5	6. 0	0832	1. 5	0751	
榛 名 山	30.0	5. 0	2400	1.0	2400	72. 5	18. 5	0942	4. 5	0933	
前 橋	35. 0	6. 0	2355	1. 5	2349	94. 0	11. 0	0807	3. 0	0756	
黒保根	29. 0	5. 0	2347	1. 5	2257	70. 0	8. 5	1110	2. 0	1045	
桐 生	29. 0	4. 0	2359	1.0	2357	84. 5	15. 0	1016	3. 5	0951	
上里原	33. 0	5. 0	2400	1.0	2400	69. 0	8. 5	0615	2. 0	0551	
伊 勢 嶋	33. 5	6. 0	2350	1.5	2309	103. 5	12. 0	0847	2. 5	0933	
西野物	34.0	5. 5	2400	1. 5	2400	74. 0	9. 5	1147	2. 0	1146	
藤	35. 5	6. 0	2356	1. 5	2340	76. 0	8. 5	0705	2. 5	0613	
館材	25. 0	3. 5	1927	1.0	1856	87. 5	21.5	1018	5. 5	0932	
神	42. 5	8. 0	2347	2. 0	2305	68. 0	9. 0	0517	2. 0	0540	

[]] 資料不足値:統計に用いたデータが不足している

警報•注意報

- 2月14日(金) 午前4時17分 大雪注意報、着雪注意報 発表 午後4時49分 大雪警報 発表
- 2月15日(土) 午前4時15分 雷注意報、強風注意報 発表

午前9時16分 洪水注意報 発表

大雪警報、着雪注意報 解除

午後4時18分 雷注意報 解除

2月16日(日) 午後6時14分 強風注意報、洪水注意報 解除

(前橋地方気象台 大雪に関する群馬県気象速報より)

被害の状況

(1) 人的被害(119番通報による)

死亡1人重傷3人軽傷7人

(2) 住家・非住家被害

 住宅
 全壊
 0件、半壊
 0件、一部損壊
 1,273件

 非住宅
 全壊
 0件、半壊
 0件、一部損壊
 150件

(3)農業被害

ハウス被害 911件 16,276アール

農作物被害 36,329アール

作物別被害面積 ほうれん草 10,843アール

ごぼう 3,692アール

ナ ス 2,970アール

トマト 2,344アール

に ら 2, 131アール

その他(きゅうり、春菊、小玉スイカなど)

(4) その他

大規模停電 なし

孤立地域なし

避難等なし

住宅等の復旧支援

• 支給対象者

市内に住宅を所有し、居住している住宅等が平成26年2月の大雪により損壊 した方

- 対象工事
 - (1) 住宅の屋根(雨どい、テラス、ベランダ等) 工事費30%を助成(上限20万円)

住宅屋根等補修費補助金申請件数 7,444件 金額 705,070,000円

(2) 車庫・カーポート 一律2万円の見舞金

カーポート・車庫見舞金申請件数 5,804件 金額 116,080,000円

農家への見舞金

• 支給対象

倒壊した農業用ビニールハウス (100 平方メートル以上) やガラスハウス (100 平方メートル以上)、畜舎を所有する市内に住民登録がある農家

• 見舞金

一律5万円(1世帯)

農業ビニールハウス見舞金申請件数 969件 金額 48,450,000円

商工業者への見舞金

• 支給対象

平成26年2月の大雪により損壊を受け、固定資産税の減免を受けた商工業者

• 対象建物

固定資産税の減免が認められた課税標準額10万円以上の事業用資産(工場、店舗、事務所、倉庫など)

• 見舞金

一律5万円

申請件数 6件 金 額 300,000円

固定資産税の減免

• 減免対象

平成26年2月の大雪により損壊した家屋や償却資産については、その損壊の程度により平成26年度固定資産税を減免

申請件数40件固定資産税2,563,100円都市計画税355,000円計2,918,100円

対応状況

①市民への情報発信

いせさき情報メール配信状況

日	時間	概 要
2月15日	8:56	・積雪に関する注意喚起
	15:32	・転倒や落雪に関する注意喚起 ・除雪は作業中であること
2月16日	8:32	・除雪に関すること
	12:39	・除雪、交通、公共施設、公立学校、ごみの収集、催し物に関すること
	17:28	・上記のほか、建物の被害が多いこと、市民病院に関すること
2月17日	16:04	・除雪に関する経過情報提供 ・学校、ゴミ、交通、公共施設に関すること
2月18日	13:31	・学校周辺、歩道等の除雪開始・高齢者等の除雪協力
	15:37	・時間を遅らせての登校 ・高齢者等の除雪協力
2月19日	9:55	・除雪経過状況
	18:04	・助成金及び見舞金について
2月21日	11:38	・2/24 からゴミの収集が通常に戻ること
	14:39	・ボランティアセンターの案内
	16:18	・東京電力からのお知らせ
2月24日	11:37	・雪捨て場について
2月26日	9:43	・落雪注意
2月27日	15:09	・大雪に対する支援

いせさき情報メールの配信に合わせ、ホームページも随時更新した。

②除雪体制

2月14日 委託業者へ除雪準備を指示(午後4時)

15日 除雪作業開始(午前4時~)

15目

~ 除雪:幹線道路優先

17日

18日 除雪:幹線、準幹線及び学校周辺道路優先

19日 除雪:学校周辺及び生活道路

長岡市から除雪作業応援視察(先遣隊4名)

20日

と 長岡市から職員6名、大型除雪車を含む除雪車3台による除雪支援

21日





③交通規制·運行状況

2月16日~19日 コミュニティバス「あおぞら」運休 (1路線は20日まで運休)

15日・16日 JR両毛線は上下線とも運転見合わせ

④要援護者対応

2月18日 民生児童委員が一人暮らし高齢者の安否確認を行った。

高齢者等の世帯を対象に市職員による除雪協力を開始(~27日まで)

2/1815件2/19116件2/2037件2/218件

2/24 3件

2/27 1件

19日 食糧が尽きてしまった高齢者に水と備蓄食料を提供(1件)

⑤帰宅困難者対応

2月15日 JR伊勢崎駅より帰宅困難者対応に毛布の要請あり、30枚提供

⑥職員体制

- 2月15日 関係課職員登庁し、市長、関係部課長と情報共有 安心安全課へは倒壊した車庫等への助成に関する問い合わせが多数 道路維持課へは道路の除雪に関する問い合わせが多数
 - 16日 市長、副市長登庁し、直接指揮を執る 職員を増員し対応

⑦消防本部の対応

2月15日 消防本部は大雪に伴う警戒本部を設置(午前10時30分) 非常招集により、平時の2倍以上の人員体制を確保 多数かつ長時間を要する救急に対応するため、救急車以外の消防車も救急 出場した。

> ※救急資器材を準備し、救急救命士を乗車させた。 消防本部が捉えた被害情報は、1時間ごとに安心安全課に提供 活動に長時間を要する緊急車両の燃料確保のため、伊勢崎市指定給油所以 外の24時間セルフサービスステーションにおける給油体制を確保

活動状況

2月15日 救急出動は50件(大雪に伴わないものを含む)

※平時の約2倍

救急出場に要した時間は、平均で約2時間、最長で7時間以上 ※平時は約30分

2月15日 午前0時から、19日午前8時までの119番入電は、551件※平時の約3倍

⑧その他

2月20日 市社会福祉協議会でボランティアセンターを設置し、高齢者、障害者世帯 などを対象に除雪や買い物等の支援を開始する。





課題及び改善点

対応項目	課題	改善点
情報発信	大雪警報発令に伴う注意喚起をした方がよかった。	警報発令時に迅速な情報発信ができるシステムの導入について検討し、本年6月1日より、いせさき情報メールに、気象注意報・警報などについて発令と同時に自動で登録者に送信する機能を追加した。
除雪体制	積雪量が多く時間を要した。 車での移動ができず状況を把握することが困難であった。 電話での問い合わせが多く、対応に追われた。 委託業者だけでは除雪しきれない。	除雪機械の増強や、区長等と 連携をとり、地域住民に協力し てもらう。 雪の置き場に公園、河川敷な どの利用を検討する。
交通規制等	市内の主要交差点において、走行不能となった一般車両の放置により、緊急車両が通行困難となる状況が多発、消防本部前の道路では身動きのとれない一般車両による渋滞が発生し、緊急車両が消防本部から出ることに支障が生じた。	消防本部の前など、緊急車両 の通行に効果の大きい道路は、 優先的に一般車両の交通規制、 除雪を実施する。 市、消防と警察の連携を密に して効果的な交通規制を実施 する。
要援護者	早急な災害時要援護者名簿作成の 必要性を感じる。	災害時要援護者名簿を作成し、本年7月から自主防災組織等へ提供することにより支援体制を確立した。
職員体制	災害対策本部と同等の体制を執っていたが、正式に災害対策(警戒)本部を設置し、体制整備を行った方がよかった。	適切なタイミングで対策本 部等の設置がされるよう、本市 の地域防災計画に雪害対策を 規定する。
その他	ボランティアセンターの設置は初 めてのことだったので、立ち上げまで 時間がかかった。 スコップなどの道具もなかった。	社会福祉協議会と連携し、ボ ランティアセンターのスムー ズな設置に努める。

今後の対応

大雪となった前の週、2月8日にも30センチ程度の積雪を観測する雪が降ったが、除雪作業や市民生活に大きな混乱はほとんど見られなかったことから、30センチ以上の積雪が見込まれる場合に以下のような対応が必要となる。

①市民への情報発信

- ◎積雪時には次の事項についていせさき情報メール等で広く住民に周知し、協力を依頼 する。
- ・不要不急の外出は控えること
- ・自家用車の使用は極力避けること
- ・カーポート等の車庫の倒壊に注意するとともに、屋根からの落雪に注意し、屋根の下 へは近づかないこと
- ・消防車や救急車などの緊急車両が通行できるよう、生活道路の除雪に協力すること
- ・近隣住民で協力し合い、生活道路・通学路などを除雪すること
- ◎市のホームページで冬季タイヤの装着徹底や気象情報、通行規制などに関する情報を提供するとともに、ツイッターなどのSNSを利用し、交通渋滞、除雪作業の状況などをリアルタイムで情報を発信する。

②除雪体制

- ◎幹線道路などの除雪作業は、交通量の少ない夜間を中心に行うこととし、早い段階で大型の除雪機を所有する他市へ除雪応援について協力を依頼する。
- ◎県内の各道路管理者及び関係各機関で構成される「群馬県道路除雪会議」において、現状の除雪体制の能力を超える大雪が発生した際に、連携して効率かつ迅速な道路除雪の方法等について事前に協議、確認するとともに、互いの情報を共有することにより、確実な対応が図れるようにする。
- ◎雪捨て場を市内各箇所に事前に選定し、雪捨て場までのアプローチも除雪する。
- ◎道路除雪業務委託契約を締結している「伊勢崎土木建築業協同組合」が対応しきれない場合、各組合等(管工設備協同組合、浄化槽協会伊勢崎支部、小規模工事登録業者等) に応援を依頼することとし、その際の連絡体制の強化を図る。
- ◎重機を所有する建設業者等へ平時から複数のオペレーター育成について依頼する。
- ◎道路除雪は、緊急車両の通行に効果の大きい道路、災害拠点病院の周辺を優先する。

③交通規制·運行状況

◎積雪により道路交通が麻痺している状況では、警察との連携を密にとり、効果的な交通規制の実施を依頼する。

④要援護者対応

◎ひとり暮らし高齢者世帯や障害者世帯などの災害時要援護者を抱える世帯では、個人による除雪作業が困難な状況となることから、これらの世帯の除雪作業については災害時要援護者名簿を有効に活用し、自主防災組織を中心とした地域コミュニティやボランティアによる対応をお願いする。

⑤帰宅困難者対応

◎ J R 伊勢崎駅及び国定駅については、災害時における帰宅困難者対応に関する協定を締結しているが、今後は東武鉄道とも同様の協定締結について協議し、双方と連携した対応を図る。

⑥職員体制

○積雪による災害が発生するおそれがある時の災害対策 (警戒) 本部の設置基準について検討を行う。

⑦消防本部の対応

- ○遠距離への救急搬送は困難であるため、災害拠点病院(伊勢崎市民病院・伊勢崎佐波 医師会病院)の患者収容体制の強化を依頼する。
- ○消防機関の応援など、広域応援の要請を検討する。

市役所周辺の様子







